

5/14 Hirado City Photo News
アリエス(株)が布マスクを寄贈



平戸市役所市長室において、紐差町でスーツやジャケットなどの縫製業を営むアリエス(株)から同社製の布製マスク1,000枚が寄贈されました。

黒田市長は「高い技術力で作られ、繰り返し使える布製マスクは貴重で、ありがたい」と述べました。尾上智昭代表取締役は「わずかですが市民のお役に立てればと思う。協力できることがあれば情報提供いただきたい」と話しました。

寄贈された布製マスクは、市内の観光施設などで活用されています。

5/11 Hirado City Photo News
福田酒造(株)が消毒液を寄贈



平戸市役所市長室において、福田酒造(株)からアルコール消毒液(500ml)24本が寄贈されました。また、平戸市民病院にも12本が寄贈されました。

アルコール消毒液は、5月から製造を開始。日本酒の醸造用に仕入れた度数95パーセントのアルコールを65パーセントに薄めて作られています。専務取締役の福田竜也さんは「地元の酒蔵としてできる事をしていこうと始めた」と話しました。

寄贈された消毒液は、市内の病院や小中学校、公民館などで利用されています。

5/12・18 Hirado City Photo News
人口減少・高齢化が進む平戸市の介護の担い手に



平戸市役所市長室において、平戸市介護人材確保支援事業賞賜金交付式が行われ、12日と18日にそれぞれ2人に交付しました。

この事業は、満25歳以下で介護職として市内事業所へ就職した人を対象に賞賜金を交付するもので、今年は、3月に市内の高校を卒業した3人と市外の高校を卒業した1人の合計4人から申請がありました。交付を受けた白土さんは「1からのスタートでわからないことばかりですが、自分の仕事に責任を持って取り組みたい」と話しました。



5/14 Hirado City Photo News
台南市から保護眼鏡が到着



台湾の台南市から、保護眼鏡300個、マスクガセット400枚が届きました。本市と台南市は鄭成功ゆかりの地ということから、平成25年に交流促進協定を締結し、市民同士の相互訪問や青少年の文化・スポーツ交流などを行ってきました。

今回届いたマスクガセットは、マスクの内側に当てて使用・交換することで、マスクの使用期間を延ばすことができます。

保護眼鏡とマスクガセットは医療機関などで使用されています。

5/14 Hirado City Photo News
(株)モロフジがマスクを寄贈



平戸市役所市長室において、福岡県で包装資材製造を営む(株)モロフジから不織布マスク1万枚が寄贈されました。

黒田市長は「学校現場などで活用させていただきたい」と述べました。同社の諸藤俊郎社長は「企業活動が厳しい状況ですが、事業をさせていただいている平戸市への恩返しができればと思い寄贈させていただいた」と話しました。また、同社製の飛沫防止フィルムも寄贈され、市役所の各窓口の飛沫防止パーテーションなどに利用されています。

5/7 Hirado City Photo News
普通の生活が帰って来ることを願って



平戸市役所市長室において、平戸商工会議所青年部が#笑顔プロジェクトとして企画した「普来袋」販売開始の報告が行われました。コロナウイルスの影響で、市内の店舗などの売上げが減少していることを支援するため、青年部が主体となり1袋5,000円で平戸商工会議所会員事業所の商品や商品券など6,000円分以上が入ったお得な福袋を販売しました。

この日は、青年部会長の井芹裕貴さんらが市長室を訪れ、専務理事の福田竜也さんなどから普来袋の企画の趣旨や内容についての説明が行われました。

4/23 Hirado City Photo News
大石建設が体温計を寄贈



平戸市役所市長室において、大石建設(株)の前田政則統括営業本部長から非接触型体温計20個が寄贈されました。

受け取った黒田市長は「市民に感染への不安が広がっている。有効に活用させていただく」と述べました。寄贈された体温計は離島航路利用者の検温に使用されているほか、病院や保育園などでも使用されています。

大石建設(株)は昭和8年に生月町で創業し、現在佐世保市に本社を置いています。